

「家庭教育研修会の講座運営の方法、

『親の学び』学習プログラムの活用について」

「親の育ち」家庭教育研修会担当

子育てネットワークカー 宮崎初美

本日の流れ

第1部

「私たちの家庭教育支援活動」(30分)

休憩 (5分)

第2部

「学習プログラムを活用した楽しい講座の進め方」(50分)

質疑応答 (10分)

自己紹介

- 出身：愛知県稲沢市
- 住まい：愛知県一宮市木曽川町
- 家族：夫、長女（28才）、次女（28才）、長男（26才）



長女、次女が結婚。長男は東京。
結婚33年、夫と2人暮らし（新婚さん？）



宮崎 初美

「いつも元気で明るいなね！」と言われますが、
実は傷つきやすく、**ガラスのハート**です。

取り扱い注意！！

一宮市の紹介



「トカイナカ」で
子育てにやさしく
安心して暮らせるまち

R7年度の出生数：約2,200人
(ピーク：H20年度3,500人)



愛知県の北西部に位置しており、人口は現在約38万人
名古屋から10分（JR快速）

自己紹介

- 1968年（昭和43年）
 - ： 愛知県稲沢市生まれ
- 1984年（昭和59年）
 - ： 愛知県立一宮高等学校入学
- 1987年（昭和62年）
 - ： 岐阜大学農学部家禽畜産学科入学
- 1991年（平成3年）
 - ： 三菱電機メカトロニクスソフトウェア株式会社入社
- 1993年（平成5年）
 - ： 結婚→一宮市（当時は木曽川町）
（平成17年に一宮市と合併）
- 1998年（平成10年）
 - ： 双子出産
ツインズクラブ発足
- 2000年（平成12年）
 - ： 長男出産
- 2001年（平成13年）
 - ： 子育て支援センターでサークル支援のボランティア開始
- 2002年（平成14年）
 - ： 風船お姉さんデビュー
 - ： 子育てネットワーカー養成講座受講

なぜボランティアを始めたのか

双子が生まれて・・・



さらに息子が生まれて・・・



ますます、
にぎやかになって・・・





魔の2歳児の双子と新生児

子ども3人を抱えては・・・

自由に買い物も行けない

大人と話をしたい

子どもを怒鳴ってしまう

我が家で事件が・・・・（'□'）



そんな時、支えになったのは・・・

- ・ママ友
- ・保健センターの保健師さん
- ・子育て支援センターの先生



ツインズクラブを発足



支援センターの先生のお手伝い

子育てネットワークカー養成講座の受講



私にできること

《サークル支援》

双子を持つ親同士の交流の場を作る

安心安全な場所で集まる（保健センター）

情報交換（情報誌・ツインズクラブ通信の作成）

育児用品の譲り渡し

自分自身ができなかったこと、罪滅ぼし…

《子育て支援センターのお手伝い》 事業のお手伝い

託児、パネルシアター、親子遊びなど

☆いずれも2歳の子を連れて活動できた（木曽川町時代）



その結果

自分の居場所を見つけることができた



自分らしくいられる時間を見つけることができた

感謝されること、必要とされること

に喜びを感じることができた

活動しやすくするためには？

先輩ママとしてお手伝いしていると

「あの人、だれ？」
「何か資格を持っている人？」

そんな声を聞くようになって・・・

何か資格があった方が
いいなあ・・・

将来

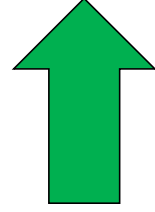


平成14年

家庭教育支援ボランティア養成講座

《受講資格》

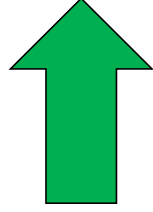
- ・子育て経験者



子ども3人
子育て中！

《活動内容》

- ・子育て中の親子の支援
- ・家庭教育支援
- ・地域における
子育ての相談相手



支援センター
でのお手伝い

「子育てネットワーカー」となった

なぜ、「子育てネットワーカー」だったのか？

今の自分に興味がある内容だった

⇒自分の子育てに役に立つ

もしかして、仕事につながるかも…

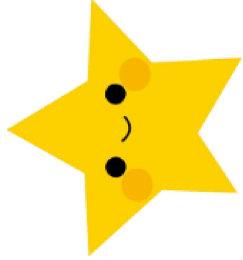
⇒資格が取れる？

・一人ではなく、仲間と一緒に活動できる

結果⇒仲間・友人が増えた

おまけ

意外な特技を発見！！



「風船お姉さん」デビュー！！



第1部「私たちの家庭教育支援活動」

「子育てネットワーク」とは

- ・県や市の『家庭教育支援ボランティア養成講座』を受講
- ・ボランティア
- ・先輩ママ

子育てネットワークは、身近な地域で子育てや家庭教育に関する相談にのったり、親子で参加する様々な取組や講座等の学習機会、地域の情報等を提供したりする活動を行います。

また、地域の実情に即して、学校や地域、教育委員会等の行政機関や福祉関係機関と連携しながら、子育てや家庭教育を応援する活動を行います。



なぜ「子育てネットワーク」が必要とされているのか

H7年度の養成講座実施要領より

《趣旨》

少子化で核家族化、都市化など様々な家庭教育環境の変化により、子育てに不安を持ったり、家庭や地域で孤立感・疎外感を抱いて生活したりしている親も増えている。

また、一方で**家庭や地域の教育力の低下**が指摘されている。

そこで、地域において乳幼児を持つ親が子育てについて気軽に相談したり、乳幼児を持つ親が集まって子育てや乳幼児の遊びについて学習している「子育てグループ」や「子育てサークル」の活動を支援したり、行政の行う子育て支援活動に参加できる指導者として「子育てネットワーク」を養成し、**地域の子育てネットワークの構築**及び**地域の教育力の向上を図る**。

令和の子育て中のお母さんは？

働くお母さんが増えている（育児休暇中）



1才か1才半で仕事復帰しなければならぬ

新たな問題として……

コロナで、「妊娠中」も「子育て中」も人との交流が少ない



ママ友づくりの場所がない

さらに新たな問題として……

「ママ友」は特に必要と思っていない

「特に困っている」という感覚がない

AIの登場

子育てネットワーカーとして、目指すべき姿

子育てについて、ちよつと話ができる、相談が出来る、身近な先輩ママ

近所の世話焼きおばさん

話を聴いてあげられる

ママに寄り添う気持ちを忘れない

子どもの成長を見守る

一緒に喜ぶ 共感する

今どきの子育て事情を把握する

子育て情報を収集する

新しいことを受け入れる柔軟な姿勢

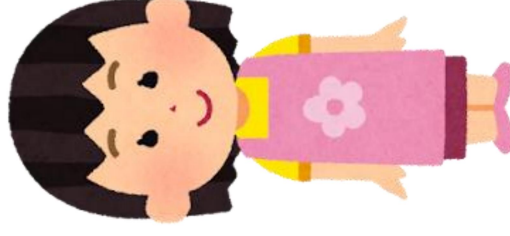
常に学習し、自己研鑽を忘れない

選択肢をたくさん挙げて、ママに選んでもらう

押し付けない

否定しない

プロではない





活動するにあたって…

- ・支援の対象は？
- ・具体的な活動は？
- ・一緒に活動する仲間はいいますか？
- ・市町の協力は？



一宮市の子育てネットワークーカードの活動紹介

支援の対象	具体的な活動	開催	仲間	市町の協力
第1子 0才児と保護者	フレッシュママ交流会	月2回×3か所	子育てネットワークーカード	一宮市生涯学習課
0～2才と保護者	フレママひろば	月1回×11か所		
0才児のママ	オンライン交流会	月1回×1か所 (R6年度で終了)		
2才～未就園児と保護者	ステップアップママひろば	月1回×2か所		
0才～未就園児と保護者	ぴよぴよらんど	月1回×2か所		

ネットワークーカードの数 …… 85名 (R8年度)

場所の確保 …… 生涯学習課

募集・申込方法 …… 広報、情報誌に記載、電子申請 (QRコードも対応)

一宮市の子育てネットワーカーの活動紹介

「生涯学習課の事業の活動日」

	月	火	水	木	金
第1週		浅井フレママ びよびよ大和	尾西交流会 【1回目】	木曾川交流会 【1回目】	
第2週	西成フレママ	びよびよ尾西 丹陽フレママ ステップ丹陽	神山フレママ	ステップ北方	千秋交流会 【1回目】
第3週		萩原フレママ 開明フレママ	今伊勢フレママ	奥フレママ 千秋フレママ	向山フレママ
第4週	宮西フレママ		尾西交流会 【2回目】	木曾川交流会 【2回目】	千秋交流会 【2回目】

交流会

申込必要
(電子申請)

ひろば

申込なし

生涯学習課の事業だけでも月に21日の活動をする場所がある。(年間252日)
その他、青少年課(夏休みキッズi)、社会福祉協議会(おもちゃ図書館)など、
他の課の事業も活動。

具体的な活動

(例) フレッシュママ交流会(コーディネーターとして運営)

- ＜対象＞ 市内在住の第1子で3～11カ月の乳児とその母親で2回とも参加できる方
- ＜定員＞ 各20組(毎月 市内3か所で開催)
- ＜募集方法＞ 電話もしくは電子申請(QRコード読み取りアクセス)
- ＜日時＞ 2回/月
- ＜場所＞ 各公民館
- ＜プログラム＞

- ・はじめのあいさつ
- ・参加者紹介
- ・耳寄りな話
- ・親子遊び
- ・グループトーク(月齢別)(地域別)
- ・フリートーク
- ・おわりのあいさつ





愛知県「親の育ち」家庭教育支援研修会について

「愛知県の活動の紹介」……愛知県教育委員会 尾張教育事務所

支援の対象	具体的な活動	開催	仲間	市町の協力
小中学生の保護者	PTA研修会	5か所	「親の育ち」研修会担当	尾張教育事務所
	就学時健診			
幼稚園の保護者	PTA研修会			

「親の育ち」研修会担当（講師）の数……24名（R8年度）

H25年当時は5名からスタート

コーディネーターの数……5名

研修会の依頼、学校との交渉……コーディネーター

事務局……尾張教育事務所

※R8年度は既定の5か所にもれた学校から、別枠での依頼が13件あります。



～休憩～ （5分）

第2部「学習プログラムを活用した楽しい講座の進め方」

※A4の白紙の用紙と太いペンを用意してください

第2部「学習プログラムを活用した楽しい講座の進め方」



平成22年度発刊

平成27年度 追加版

平成30年度 追加資料集

令和3年度 追加版

「親の育ち」家庭教育研修会について

・対象



- ・PTA研修会
- ・就学児健診

・場所



- ・図書室、特別教室、会議室
- ・体育館

・テーマ



- ・あいちっこ「親の学び」学習プログラムに準ずる
- ・学校からの希望

・打ち合わせ



・資料作成

そのまま使ってもよい

・研修会（講座）

- ・要望に合わせて、オリジナルで作ってもよい

・報告



- ・県の様式の報告書を作成し、
コーディネーターに提出する

「親の育ち」家庭教育研修会のプログラム



ワークショップ形式を基本とする

- ・ワークショップとは
体験型学習方法

一方的に講座を受けるのではなく、参加者が実際に参加・体験することが大きな特徴

(主体的で 対話的で 深い学び) …アクティブラーニング

《良い点》

- ・はじめての仲間と一体感を持ちやすい
- ・少人数の中で自分の意見を言いやすい、他人の意見も聞ける ⇒ 意見交換がしやすい

《注意点》

- ・一人の人が話しすぎない
- ・全員の意見を聞く
- ・人の意見を否定しない
- ・ここで得た秘密は守る

話し合いを円滑にすすめるために
**グループ毎にファシリテーターを置いて見守る、
進めるのが理想的である**

プログラムの流れ



《アイスブレイキング》

- ・幸せなら手を叩こう
- ・もしもかめよ
- ・一緒ならハイタッチ、
違っていたら握手
- ・キヤッチ
- …etc.

《ワークをするためのグループ作り》

- ・バースデーサークル
- ・今朝は何を食いましたか？
- ・好きなのはどっち？
- ・進化じゃんけんゲーム
- ・ジェスチャーで仲間探し
- ・トランプ
- …etc.

はじめましての人とでも、心を開いて、話し合いができる雰囲気づくりが大切

PTA研修会など意欲的に学習したくて来た人も、

就学児健診のように強制参加で仕方なく来ただけで、意欲的ではない人もいる



「この研修会に参加して楽しかった」

「知り合い」ができたので、学校へ来る不安がなくなった



自己紹介

太いペンを使って書いてください

①「お住いの地域（市町）」

②「お名前」

③「受講の動機、目指すもの」

④「誕生月と日時を数字4桁で」

一宮市
宮崎 初美
恩返しと自分の居場所づくり
1104

グループ毎で、ひとり1分程度でお願いします



≪テーマ≫ 児童期の子どもの保護者を対象（Ⅲ－6）
「こんな時 どうする？」
～家族・自立（子どもの心理、性格形成、自立心）～

テーマのねらい

- ・児童期の子どもの親としての関わりを考える
- ・子どもの様子をどれだけ観ることができているかを考える
- ・褒められる事、励まされる事で、子どもの心は豊かに育つことを考える
- ・親から認められることで、自信を持ち自分の事を好きになっていくことを話し合う
- ・日常生活を振り返りながら、グループで考え、自分の意見を言う、他の人の意見を聞く
- ・多くの意見の中から、自分なりの気づきを得る機会とする





ワーク①

- ・「うちの子はどんな子？」特徴を教えてください
(一番初めのお子さんの小学生の頃を思い出してください)
「うちの子は〇〇な子です。」と時間内で、できるだけ多く書き出してください
- ・いくつ出ましたか？
- ・上に出したお子さんの特徴で
「長所だと思う」「我慢できる」ことを○で囲んでください
- ・この中で、一つだけ選んで○をつけてください
- ・お子さんの紹介をしてください。
「うちの子は〇〇な子です。」



ワーク②

《エピソード》

「ただいまー！」元氣よく帰ってきた翔太君。
「優人君と約束したから、行ってくる。」とゲーム機をリュックに詰めて
います。
お母さんは「えー？ 出かけるの？ まずい手は洗って。宿題は？」
「あとでー!!」とリュックを背負って出かけようとする翔太君のリュック
をつかんで、お母さんは「ダメ！宿題しなさい！」と怒っています。
翔太君は「後でやる。優人君が待ってる。約束したんだもん！」と
言います。





- (1) エピソードをよんでどんなことを感じましたか？
さて、あなたならどうしますか？

あなたならどのように声をかけますか？
※どんな声掛け？なぜそのような声掛けをするのか？

グループ毎で、ワークします
順番に全員の意見を聴きましょう



第2部「学習プログラムを活用した楽しい講座の進め方」

- (2) グループで出た意見を他の方にも共有します。

グループで発表者を決めてください。

たくさんの意見があったと思いますが、
特にこれというのでもよいし、みなさんの意見をまとめてもよい
です。
まとめたのであれば、なぜ、その声掛けの仕方がよいと思ったの
か、理由もお願いします。

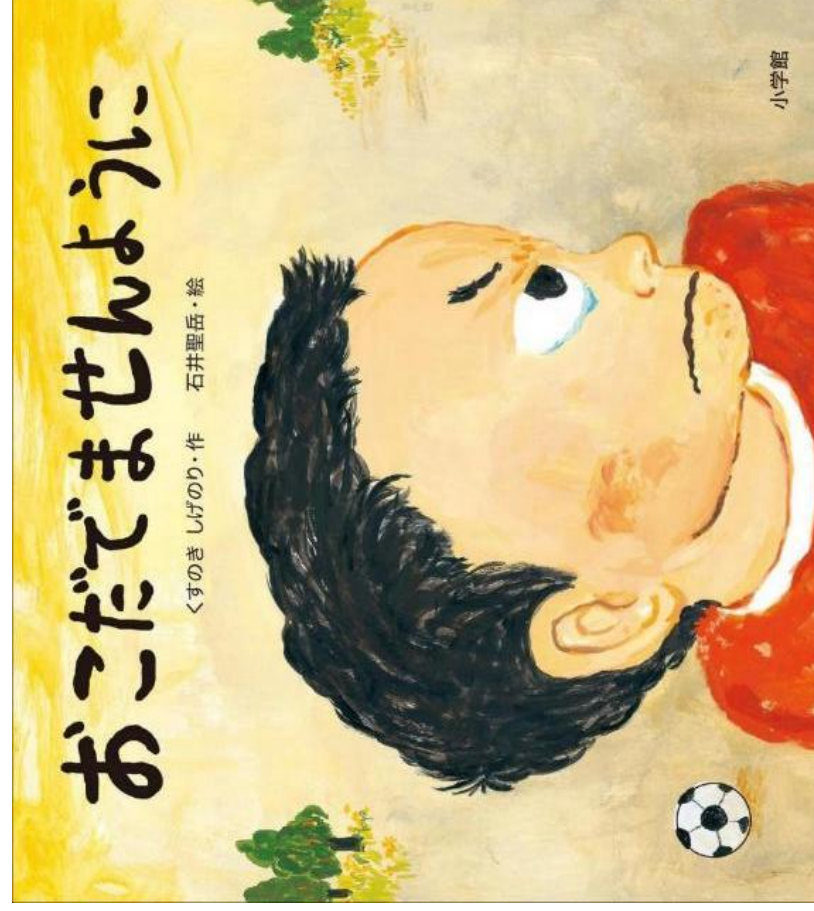
グループ毎で、ワークします
話し合しましょう

「まとめ」

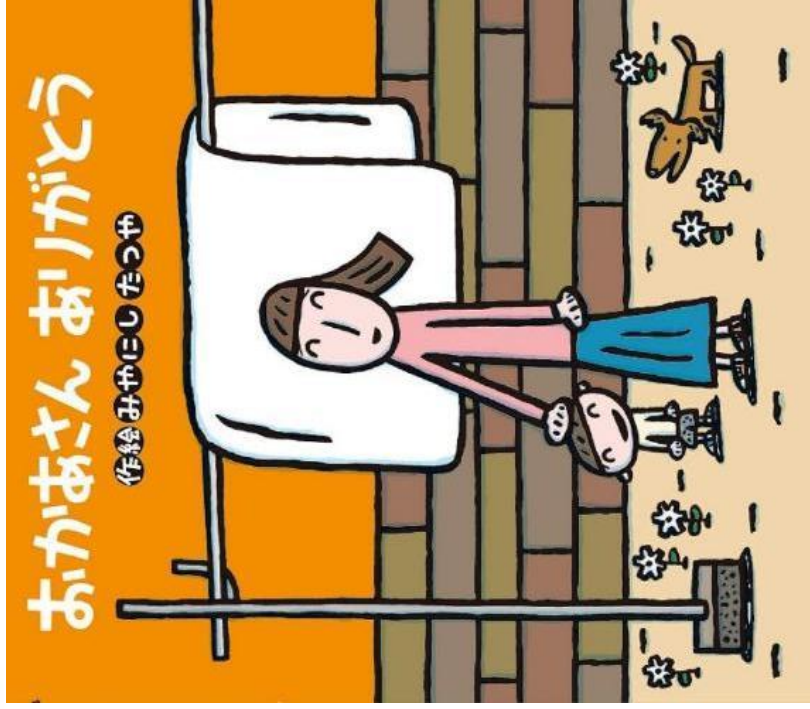
- ① 雰囲気づくり、仲間づくり
- ② 具体的なエピソードを例に意見を出し合う
- ③ 共有
- ④ 振り返り



絵本の紹介



絵本の紹介



令和8年度「親の育ち」家庭教育支援者養成講座

「家庭教育研修会の講座運営の方法、 『親の学び』学習プログラムの活用について」

**ご清聴ありがとうございました
皆様のご活躍をお祈りいたします**

「親の育ち」家庭教育研修会担当

子育てネットワークーカー 宮崎初美

